

Imaging Team

掲載内容

営業情報

- SOLA-SM II について
- Lumen Dynamics 社製 X-Cite 120LED について
- 89 North 社製 PhotoFluor LM-75 について
- DOC Cam HR-U3 シリーズ CCD カメラについて

技術・サポート情報

- DELL PrecisionT3600 について
- SOLA-SM II の外部トリガー制御について

はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

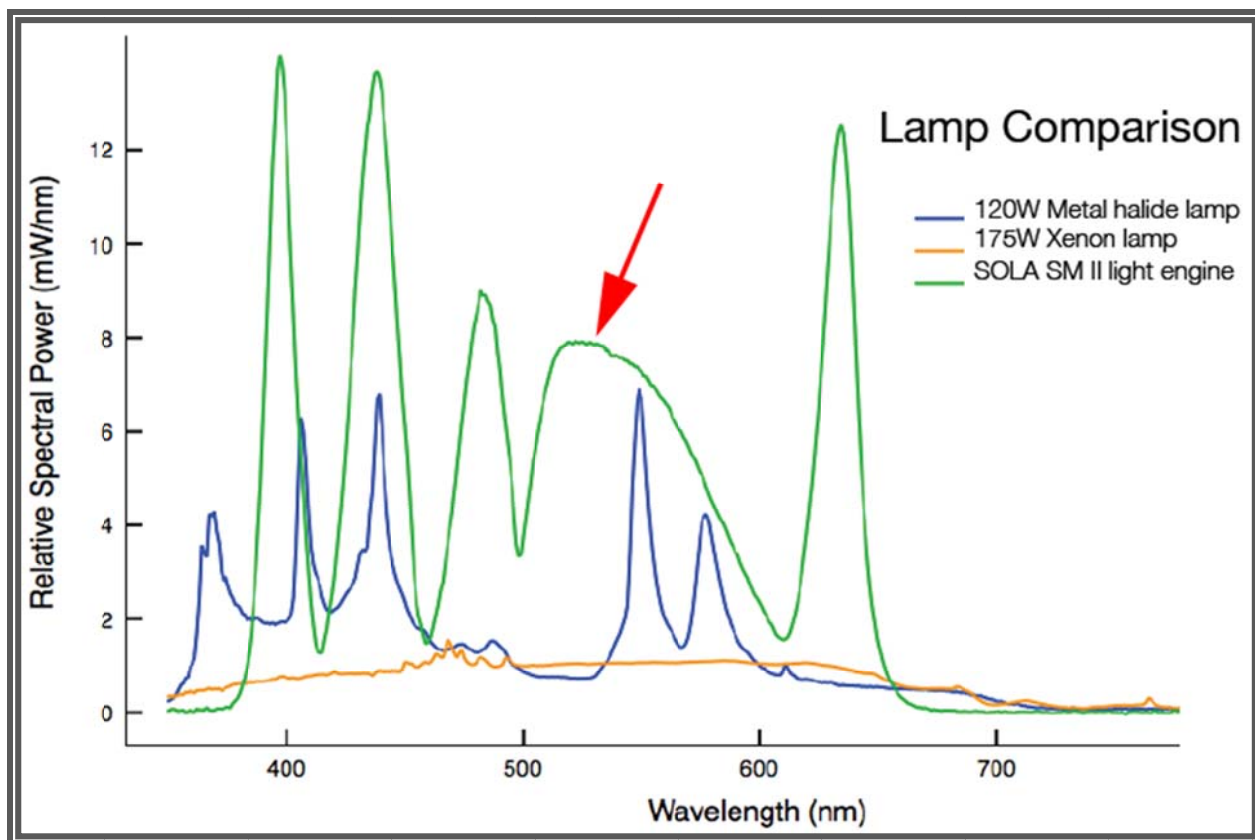
- Show Region Statistics (1)

● 営業情報

SOLA-SM II について

Lumencor 社の SOLA-SM が SOLA-SM II となり価格据え置きで大幅に機能改善されました
主な改善点として、本体ユニットの小型化、動作音の低減、LLG 用インターロック機能追加、
約 30%の輝度向上などです

- ▶ Brighter
- ▶ Quieter
- ▶ Cleaner optics
- ▶ New safety feature: LLG interlock
- ▶ Lower power consumption
- ▶ Reduced footprint
- ▶ More robust for harsh environments



※ 詳細は担当営業までお問い合わせください

Lumen Dynamics 社製 X-Cite 120LED について

XLED1 でお馴染みの Lumen Dynamics 社より X-Cite 120LED がリリースされました。370~700nm の波長領域をカバーし顕微鏡へは直接マウントする形状となっています。光源の On/Off は SpeedDIAL または、ソフトウェアより制御可能です。

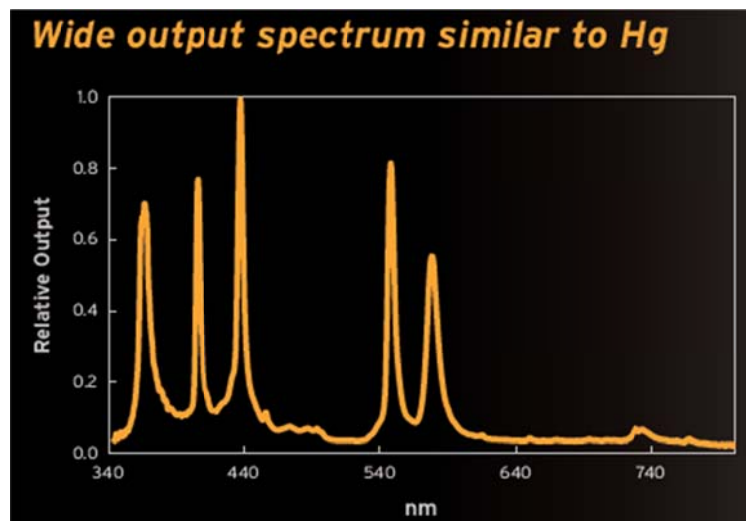
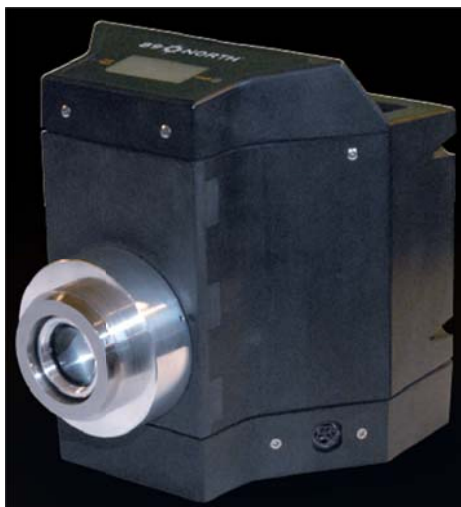
本体定価 96 万円、顕微鏡用フランジ 16 万円 (従来品 LLG 対応フランジは使用できません)



89 North 社製 PhotoFluor LM-75 光源について

UV 領域 (DAPI など) の出力を高めたメタルハライド光源 PhotoFluor LM-75 がリリースされました。リキッドライトガイドを使用していないため、UV 領域の出力を 3 倍以上改善されています。なお、機械式シャッター等は内蔵していないので、タイムラプスやレシオイメージングには今までと同様にフィルターホイールや光源シャッターが別途必要となりますので、ご注意ください。

本体定価 53 万円



DOC Cam HR-U3 シリーズ CCD カメラについて

DOC Cam HR シリーズに新しく USB3 インターフェイスを用いた U3 シリーズをラインナップに加えました。それぞれ、カラーと白黒をご用意しています。



	HR-U3-28S4	HR-U3-28S5	HR-U3-60S6	HR-U3-91S6
素子サイズ	1/1.8" (3.69um)	2/3" (4.54um)	1" (4.54um)	1" (3.69um)
素子数	1928 x 1448	1932 x 1452	2736 x 2192	3376 x 2704
転送速度	26 fps	26 fps	13 fps	9 fps
転送方式	USB 3.0			
定価	26 万円	40 万円	65 万円	70 万円

技術・サポート情報

DELL Precision T3600 について

制御用コンピュータ DELL Precision T3600（以下 T3600）は、購入時の標準状態の **BIOS** 設定で **Performance** 項にあります **C-States Control** の **Enable** にチェックが入っております。

この項目が **Enable** になっておりますと、ご使用のカメラを認識しなくなる可能性があることがわかりました。

当社より出荷いたしておりますに T3600 で 2013 年 7 月以降に出荷いたしておりますものに関しましては、設定変更を行っておりますが、2013 年 6 月以前に出荷のものは設定変更をしていないものがあります。

カメラの認識が不安定なものがありましたら、この設定をご確認いただきたいと思えます。

BIOS の設定は、コンピュータの電源を投入してすぐに **F12** キーを押して下さい。その後、Setup....を選択して下さい。

SOLA-SM II 外部トリガー制御について

SOLA-SM II を外部トリガー制御で ON/OFF を行う場合、SOLA-SM II の前面パネルのフットペダルを取り付ける為のコネクタに、**TTL 外部制御用専用ケーブル**を取り付けて行うことができます。MetaMorph (MVDOC, MetaFluor) ソフトウェアから **TTL ON/OFF** 出力を行うことによって SOLA-SM II 光源の ON/OFF を行うことができます。これにより機械式シャッターなしでタイムラプス等を行うことが可能です。

また、**2 分岐ケーブル**を使用することにより、フットペダル制御とコンピュータ制御を併用することができます。詳細に関しましては、当社担当までお問い合わせください。



2分岐ケーブル

はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

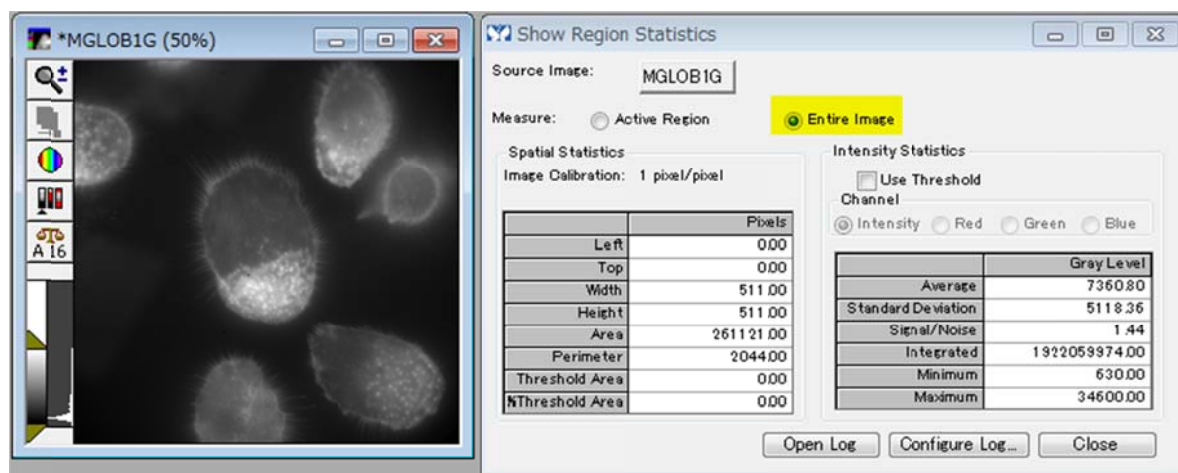
Show Region Statistics (1)

MetaMorph (MVDOC) を使用して画像全体の輝度情報を確認したい場合、Measure メニュー、**Show Region Statistics** が便利になります。

Show Region Statistics を開きますと、下記のようなダイアログが表示されます。この中で **Entire Image** を選択しますと、画像全体としての輝度情報を確認することができます。

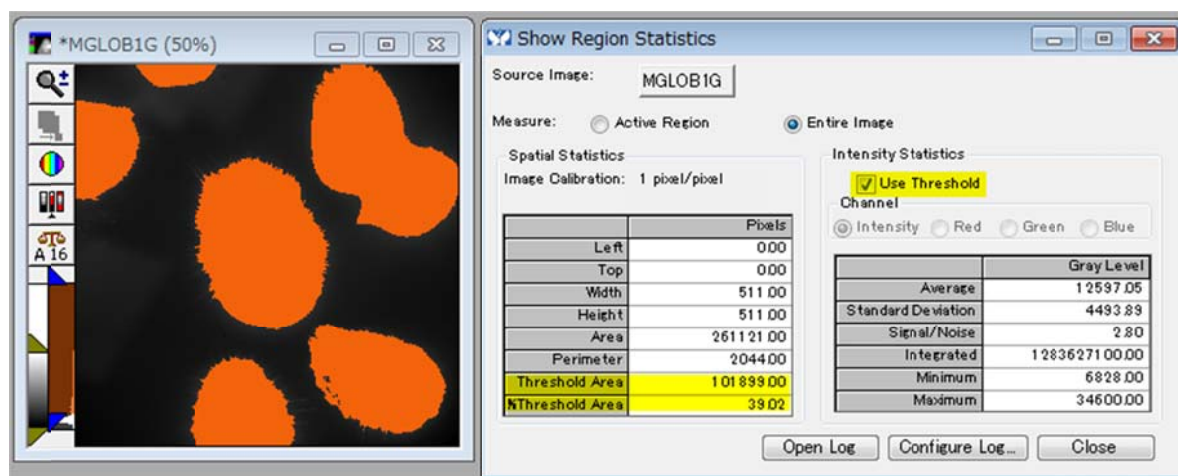
平均輝度(Average)、総輝度(Integrated)、最小値(Minimum)、最大値(Maximum)、SD 値(Standard Deviation 標準偏差)、Signal/Noise(Average/Standard Deviation)を確認することができます。

画像全体の面積や周囲長も確認できます。



輝度情報を元に着目領域を設定したい場合は、画像に閾値(Threshold)を設定します。画像中の **Threshold 面積(Threshold Area)**、画像全体の面積に対する **Threshold 面積の割合(%Threshold Area)**が確認できます。

また、**Use Threshold** にチェックを入れますと、輝度情報が画像全体では無く、Threshold 設定されている部分の値になります。



以上